

行政調査報告書「経済福祉常任委員会」

平成27年7月15日(水)～17日(金)

■石川県金沢市『ポイ捨て等のないまちづくり条例について』

金沢市は、街頭啓発キャンペーンやゴミの持ち帰り、空き缶やたばこのポイ捨て防止の呼びかけ、ペットの飼い方マナーを実施するなど、ソフト事業も充実しており、「グッドマナー市民大会」を開催し市民ぐるみでマナー向上に向けた取組みを実践している。

平成29年度の「図書情報館」オープンに向けゴミのないさわやかな安城を来訪者にアピールしていくことが必要であると感じた。



■（社）長野市社会福祉協議会（長野県長野市）『地域包括支援活動について』



長寿命日本一ということで「まちの縁側事業」を展開し、ヒト・モノ・コトがゆるやかにつながり合う地域共生の場・安心居場所を創設中。安城市の高齢者地域生活支援促進事業（予算504万円）は長野市が5000カ所の設置を目指す「まちの縁側」と同じ趣旨であるが、行政側の援助は全くなく、

地域の方が積極的に取り組んでいることが参考となった。



■まちの研究所「あ・し・た」（千葉県柏市）／丸の内タニタ食堂（東京都千代田区）

『暮らしながら健康を育む「健康未来都市」について』

まちの健康研究所「あ・し・た」の所長は、「とにかく楽しみながら健康について学んで欲しい、ここで働くスタッフも笑顔で来場者に接することで、何度も足を運んでいただける環境づくりに努めている。」と語られ、スタッフ同士のコミュニケーションも良好であった。

丸の内タニタ食堂は、社員食堂のコンセプトを忠実に再現したメニューを日替わりに提供し、OLを中心に大勢の来客者で賑わっていた。次期総合計画で「健幸都市」を目指す本市においても、民間企業の力を利用しながら、経済的で効率的な健康増進施策を展開していくことが重要である。

